

産業
情報

いわて

Industry
Information
Iwate

2019.3

VOL. 193

[公財]いわて産業振興センター広報誌

特集／キラリ輝く★いわての企業

株式会社エヌエルフォーティ

ジャージを極めた縫製技術を

北緯40度から発信

特集／Pick UP!

これはなんでしょう?



答えは特集の中で

ネプコン ジャパン2019 / 6

第23回「機械要素技術展」出展のご報告 / 6

「とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会」について / 7

IoT&デジタルヘルスケアセミナーを開催 / 7



体育館がそのまま工場に。中心にあるのは自動裁断機



教室の壁を抜き、3教室分をミシン室に

ジャージを極めた縫製技術を 北緯40度から発信

普代村／株式会社エヌエルフォーティ

✓ 社長メッセージ



代表取締役社長 植田 一丸

柳ニット時代から、普代村で50年縫製業を続けてきました。4月から始まる、世界的スポーツブランドの体育着の国内認定工場として、生産量UPを図っていききたい。そしてOEM(ブランドの受託製造)を維持しながら、オリジナルブランド「KAZUMARU」や、新しい商品開発も進め、地元のを地元で着る、地産地着を広げていきます。



動画でキラリ
会社訪問

2019年春から、世界的なスポーツブランドの体育着の生産もスタートさせる、スポーツウェア専門の縫製会社、株式会社エヌエルフォーティ。北緯40度の普代村に工場を構えて以来、組織や社名を変えながら、地元採用の社員で事業を続けている。

村に根ざした企業として

縫製業のなかでもスポーツウェアに特化した、株式会社エヌエルフォーティ。北緯40度(N.L.40°)を意味する社名は、所在地である普代村のキャッチフレーズ「北緯40度東端の地球村ふだい」から来ている。株式会社柳ニット時代から数えて50年、この地で

縫製業を営んできた。社員は、ほとんどが地元採用である。

村にはかつて3つの工場があり、業務を分けていた時期もあった。しかし、村から廃校活用の提案があり、今は堀内小学校旧校舎に集約し、企画から縫製、在庫管理、発送まで一元化し、年間約30万着を製造している。

一元管理で短納期に対応

2階体育館に置かれた巨大な量産型裁断設備機器と、一枚裁断特化型裁断設備機は、アパレルCADにより生地からとれる身ごろ、袖といった、体育着のパーツのパターンを無駄なく配置し、そのデータでカットिंगが自動で行われる設備だ。ほかに手動の裁断機やプレス機、刺繍機が並

ぶ。同じ階にある広いミシン室では、長年勤めるスタッフが流れ作業で体育着を縫う。アイロンと梱包、発送は1階となっている。

「高校の体育着などは、合格してから実数が決まりますので繁忙期は1月～4月です」と植田一丸社長は説明してくれた。特に3月の合格発表から入学までに数が確定するだけに、春先の工場はフル稼働だ。タイトな納



パーツごとに工程を進めていく

期も国内にあるから対応しやすいという。5月～12月に、ある程度ストックする量をつくり、1月～4月は小ロットで実数までの量を生産する。小ロットに対応する生地の裁断機を購入したことで、これも可能となった。年間で受注量に差が出るため、季節ごとに労働体系を変える変形労働時間制により工場を運営し、繁忙期は休みを少なく、逆に閑散期には連休を取りやすい仕組みをつくっている。

「KAZUMARU」ブランド誕生

長年、企業のOEMが事業の中心だった同社が平成26年新たな挑戦を始めた。自社ブランド「KAZUMARU」



レーザーでカットするラインが描かれ、パーツが切り抜かれる



1



2



3



4



5

1 設備貸与制度で購入した刺繍機。社内で刺繍するのは初めてでわからないときは外注先に相談も 2 アパレルCADでパターンの配置を設計 3 これからアイロンを待つ、各学校の体育着たち 4 アイロンをして袋詰め。すべて手作業で行っている 5 開発中の「KAZUMARU」のサポーター

を核に、融資の優遇措置などが受けられる「経営革新計画書」を提出し、県から承認を得たのだ。同社の得意先は関東の学校のため、地元で着られる機会がなかった。それを「地産地消」ならぬ「地産地着」の発想で、介護施設など地元受注を増やしている。セミオーダーから完全オリジナルまで対応。「中間業者が入らない分、いくぶん安くすむのです」と植田社長はオリジナルブランドの魅力を語った。いまでは地元、普代小学校の体育着もつくる。鮮やかなイエローの切り返しが効いた独自性の強い体育着だ。「工場見学や職場体験の時、まさにその体育着を着て来るのですよ」と社長は目を細めた。

新たな開発にも着手

そしても、ウェア以外の開発にも

取り組んでいる。ジャージの伸縮性を活用したサポーター用品である。まずは腰痛軽減のための腰ベルト、骨盤ベルトの製品化を目指している。高齢化が進む中、健康志向が高まり、身体をサポートする上で何か気軽にサポート出来て疲れや痛みが軽減できるモノ、または運動機能が高められるようなモノを提供したいと、モニターの声を集めながら、開発中だ。

世界的ブランドの国内認定工場に

高校や私立では、学校指定体育着も、スポーツブランドの体育着が採用されてきている。同社も今年4月から新たに世界的スポーツブランドの体育着の生産を開始するという。刺繍機はそのために、設備貸与制度を活用して購入した。認定に際しては、技術はもとより労働体制など、企業とし

ての姿勢も審査対象になったという。さまざまな基準をクリアし、国内認定工場となった。

新たな開発、新たな受注。地産地着の拡大で、全国へ、世界へ、同社の挑戦は続く。

表紙の答え：ジャージ素材の袖口などの生地



袖口などは伸縮性があり、縫製には技術が必要。

[キラリ★成長物語]

- 01 大手メーカーのOEM企業となる
- 02 いわて希望ファンドを活用し、自社ブランド「KAZUMARU」開発
- 03 設備貸与制度で刺繍機購入
- 04 新規開発製品で新たな受注の獲得

会社からひとこと

さんりく未来塾、設備貸与、マッチングフォーラム、いわて希望ファンド、よろず支援相談など今までたくさんの支援を受けています。新しい受注のために刺繍機も支援を受けて購入しました。

支援担当の声

当社は、県内でも数少ないスポーツウェアの縫製企業です。自社ブランド「KAZUMARU」を立ち上げ、現在では県内介護施設・保育施設を中心に普及し、「地産地着」が徐々に浸透してきております。さらなる成長の一助となれるよう引き続き支援してまいります。

>> 技術ポイント



小学校の跡地で業務を一元化

広い工場スペースで、一元管理により企画からパターン入力・裁断・縫製・仕上げ・検品・納品までワンストップマネジメント。



大手メーカーのOEM企業としてのジャージ製品専門への信頼

縫製業として、前身である柳ニット時代から続く50年の歴史は、技術と納期管理の信頼の証し。



世界的ブランドの体育着生産へ

さまざまな条件をクリアし、世界的スポーツブランドの国内認定工場に。ゆくゆくは体育着生産量UPへ。



自社ブランド「KAZUMARU」

ジャージのセミオーダー企画→既製品では出来ない、きめ細やかな仕様変更が可能な自社ブランドで地産地着をめざす。

企業DATA

会社名 株式会社エヌエルフォーティ **沿革** 平成5年/柳ニット(株)からスポーツウェア部門を独立、柳ニット(有)設立
代表者 植田 一丸
業種 繊維製品製造・縫製加工
工場 岩手県下閉伊郡普代村20馬場野43-2
電話 0194-35-2442
 平成16年/有限会社エヌエルフォーティに商号変更
 平成22年/旧堀内小学校へ工場移転。有限会社から株式会社へ移行
 平成26年/独自ブランド「KAZUMARU」立ち上げ
 平成30年/刺繍機導入

従業員 37名(パート含)
資本金 300万円
URL <http://www.nl40.com/>





ネプコン ジャパン2019

1月16日～18日の3日間、東京ビッグサイトにおいて「第48回インターネプコン ジャパン」が開催され、本県企業6社が出展しました。

今回で48回目を迎える本展示会は、超微細、高精度加工に関する専門展示会の集合体として毎年、東京・名古屋で開催され、国内外から10万人を超える幅広い層の来場者が最新の情報を求めて来場する国内最大の展示会で、今年は2,528社が出展し、3日間の来場者数は116,244人に上りました。

当センターの出展は今年で3回目となります。今回の展示会は、ネプコン初出展の企業が6社中5社と新たな顔ぶれのもと、岩手ものづくりパビリオンが一丸となったPRを行うことができました。

また、今年は各企業に対し事前に訪問を行い、展示品の選定やリーフレット調製を行い展示したことにより、各企業の特徴が出て訴求力も増した展示となったほか、具

体的な「図面相談」や「試作依頼」が寄せられるなど、有望案件数も57件(前年26件)と昨年から倍増し、手応えのある展示会となりました。



●お問い合わせ ものづくり振興部 研究開発チーム

TEL: 019-631-3825

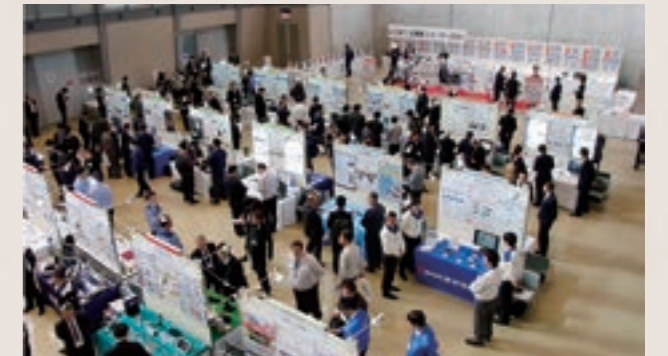


「とうほく・北海道 自動車関連技術 展示商談会」について



トヨタ自動車株式会社様をはじめ、東海地区の自動車関連企業様に対して、東北・北海道の企業等が持つ「新技術・新工法」や「コスト低減、品質・生産性向上(QCD)」に関する技術を提案し、具体的取引や協力関係の構築を目的に、2月7日～8日の2日間、刈谷市産業振興センター「あいおいホール」にて開催しました。

出展者数は全体で80企業・団体で、うち岩手県から



は、13企業・団体が参加し、今年で2年目を迎える8道県連携企画「とうほく・北海道ショーケースカー」には95社262部品が搭載され、うち岩手県からは23社70部品を搭載し、岩手の技術力のPRを図りました。

来場者数は2日間で916名、商談は323件となり、大盛況のもと閉会することができました。

●お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム

TEL: 019-631-3822



第23回「機械要素技術展」出展のご報告



2月6日～8日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において、「第23回機械要素技術展」が開催され、当県企業13社が出展しました。



今回で23回目を迎える本展示会は、製造業に関わるあらゆる要素技術、部品・部材を一堂に集めた国内最大級の集客力を誇る展示会で、今年は1,302社、3日間の来場者数は、66,049人に上りました。

当センターは、2006年から出展しており、県内企業の皆様に支えられながら今年で14回連続の出展になります。今回の出展は、有望案件数158件、今の製造業市場の旺盛な発注意欲をそのまま反映する盛況ぶりとなりました。

次回開催は、東京五輪の関係で2020年2月に幕張メッセ(千葉県)での開催となります。既に、岩手県共同出展ブース(小間)の予約を完了しており、準備を進めてまいります。なお、出展企業募集は7月頃を予定しております。

●お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム

TEL: 019-631-3822



IoT&デジタルヘルスケア セミナーを開催



2月15日、滝沢市IPU第2イノベーションセンターにおいて、いわて医療機器事業化研究会、いわて組込技術研究会を、滝沢市の主催で開催いたしました。

第一部ではIoTに潜むリスクの認識やMicrosoft Azure 等を活用したIoT開発事例などIoTをテーマとした講演を、第二部では認証プログラム医療機器や産学

連携により生まれたリアルタイム咬合力センサの開発事例など、デジタルヘルスケアをテーマとした講演をいただきました。

開催アンケートの集計では、「Microsoft Azureのデモが楽しかった。IoTが持つハードルを下げていると感じた」「医療系のIoTの必要性とビジネス化の難しさがよく分かった」等の感想が寄せられており、今回のテーマにおける参加者の興味関心の高さが窺えました。

今後におきましても、県内ものづくり企業等の生産性向上に繋がるIoT等先端技術に関する研究会を実施するほか、地域企業の取引拡大を促進するための支援を継続して行ってまいります。

●お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援チーム

TEL: 019-631-3822



ご案内

設備貸与制度のご案内

長期

3年～10年

低利

年1.3%～1.7%

 (固定金利)

無担保

金融機関融資と別枠です

【貸与の種類】

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	原則3年・7年・10年 (導入設備耐用年数上限) (条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)	原則3年・7年・10年 (導入設備耐用年数上限) (条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円 (条件1を満たせば2億円)	100万円～1億円 (条件1を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備 (中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10% (条件1を満たせば5%) (最終償還時に返済)	—
利息 (貸与損料)	年率1.30%～1.70% (固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定させていただきます。) (条件2を満たせば-0.1%)	—
リース料 (月額)	—	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要 (経営者ガイドラインに準拠)	

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。
一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。


制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。

【対象設備例】


製造業

NC旋盤、マシニングセンター、食品加工機など




運送業

大型トラック、冷凍車、ユニック車など



建設業

ホイールローダー、ブルドーザーなど



サービス業

冷凍機、厨房設備、ソフトウェアなど



※取外し・移動ができる設備に限ります

【優遇条件】

条件1

次の企業は貸付限度額が2億円に拡大、保証金が5%に軽減されます。

- 1 中小企業等経営強化法に基づく計画認定企業(経営革新・異業種連携)
- 2 中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
- 3 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定企業
- 4 いわて希望応援ファンド、いわて農商工連携ファンド採択企業
- 5 自動車関連産業生産体制強化計画認定企業
- 6 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- 7 県内企業5社以上に下請発注している企業
- 8 県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
- 9 今回の設備を設置することで⑥～⑧のいずれかに該当する企業

条件2

次の企業は適用利率から0.1%引き下げされ、据置期間を2年とすることが可能となります。

東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

条件3

次の企業は貸付期間を耐用年数プラス2年以内(最長10年)とすることが可能となります。

商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業

●お問い合わせ 総務金融部 金融チーム

TEL : 019-631-3821

産業情報 **いわて**

(公財)いわて産業振興センター広報誌

■発行/公益財団法人いわて産業振興センター
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター1F・2F)
[TEL] 019-631-3820(代) [E-mail] johoh@johoh-iwate.or.jp
[URL] <http://www.johoh-iwate.or.jp/>
■発行日/2019年3月11日 ■印刷/川口印刷工業株式会社

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。